

# 最近の経済情勢

## (県内企業経営状況調査の結果)

◇ 調査期間 令和4年10月11日～10月21日

◇ 対 象 県内企業500社対象  
・有効回答172社：回答率34.4%  
・内訳：製造業 250社(回答94社)  
非製造業 250社(回答78社)

◇ 方 法 Webアンケート

産業労働部

# 設問

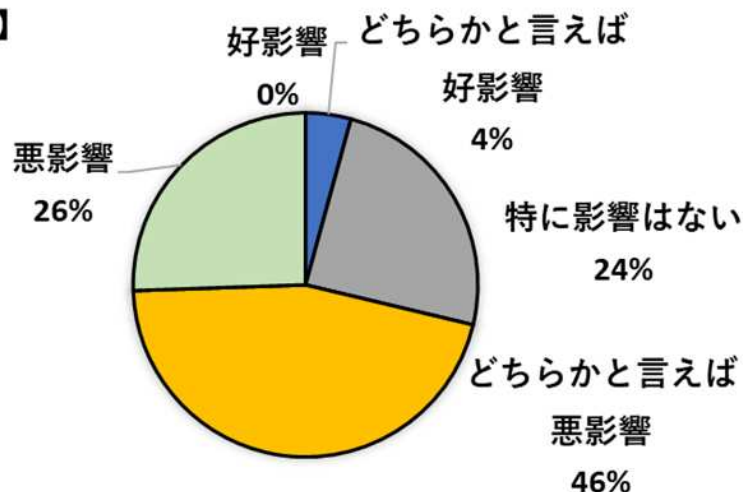
---

- 1 新型コロナウイルス感染症が経営に与えている影響
- 2 原材料・エネルギーコストの状況：①1年前との比較、②価格転嫁状況
- 3 業況：①現況、②3か月前との比較、③今後(3か月程度)の見通し
- 4 経営課題
- 5 設備投資：①取組姿勢、②予定している設備投資の目的
- 6 雇用状況：①従業員数の過不足の状況、②過不足職種

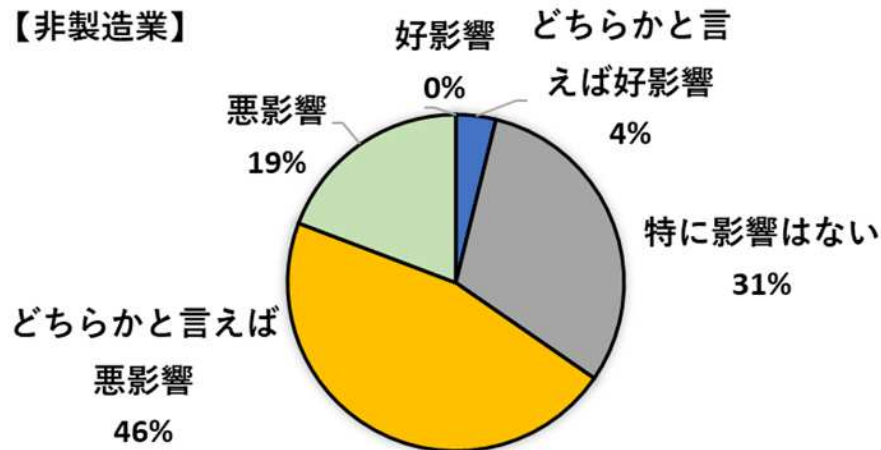
# 1. 新型コロナウイルス感染症が経営に与えている影響

- 「悪影響」と「どちらかといえば悪影響」を合わせた割合が製造業、非製造業ともに約7割。
- いずれも前回より減少。

【製造業】

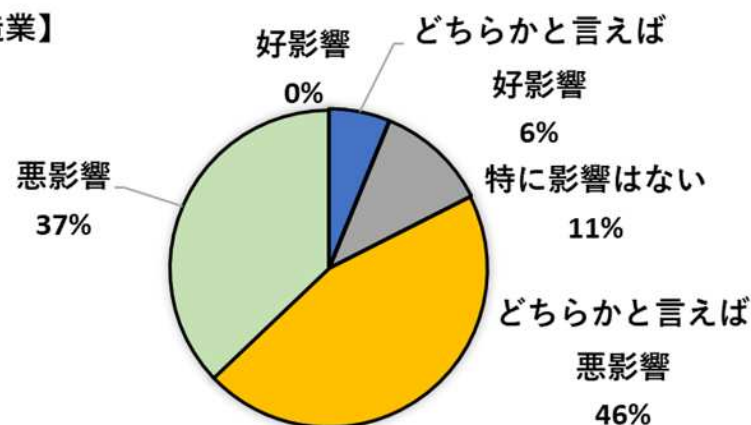


【非製造業】

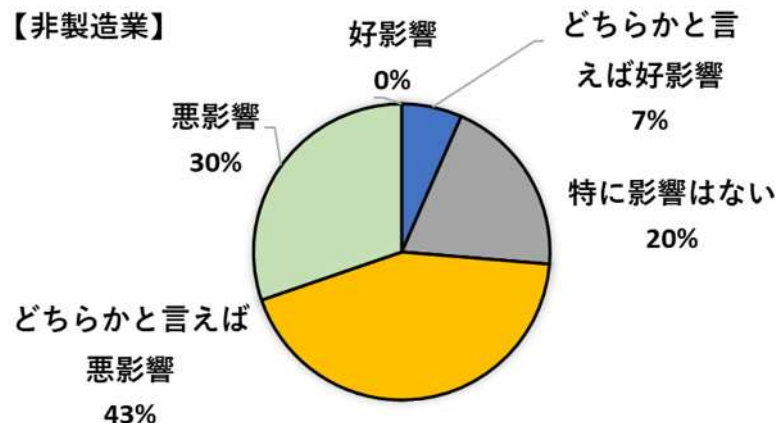


(参考) 前回(令和4年8月)調査時

【製造業】



【非製造業】



# 1. 企業の主なコメント

## 製造業

どちらか  
といえば  
好影響

・巣ごもり需要により売上が伸びている製品もある。

(金属製品製造業)

影響無

・営業活動の制約はあったが、オンラインで対応してきた。現在はほぼ元通りに近い活動が  
できている。

(生産用機械器具製造業)

どちらか  
といえば  
悪影響

・中国のゼロコロナ政策の影響で、部品の入荷が不安定である。

(輸送用機械器具製造業)

悪影響

・当初2年ほどはネット販売が好調だったが、現在は、コロナによるウッドショックの継続と  
円安の影響による資材高騰に伴う製品価格の値上げにより、かなり苦戦している。

(家具・装備品製造業)

## 非製造業

どちらか  
といえば  
好影響

・全国旅行支援スタート、インバウンド拡大傾向、行政関連の委託事業拡大がある。

(旅行業)

影響無

・出張制限などで新規の顧客獲得に影響がでているが、リモートワーク等で既存顧客への  
対応ができているので、現時点で業績の落ち込みはない。

(情報サービス業)

どちらか  
といえば  
悪影響

・消費がコロナ前に戻りつつあるものの、完全ではないため物量にも影響を及ぼしている。

(道路貨物運送業)

悪影響

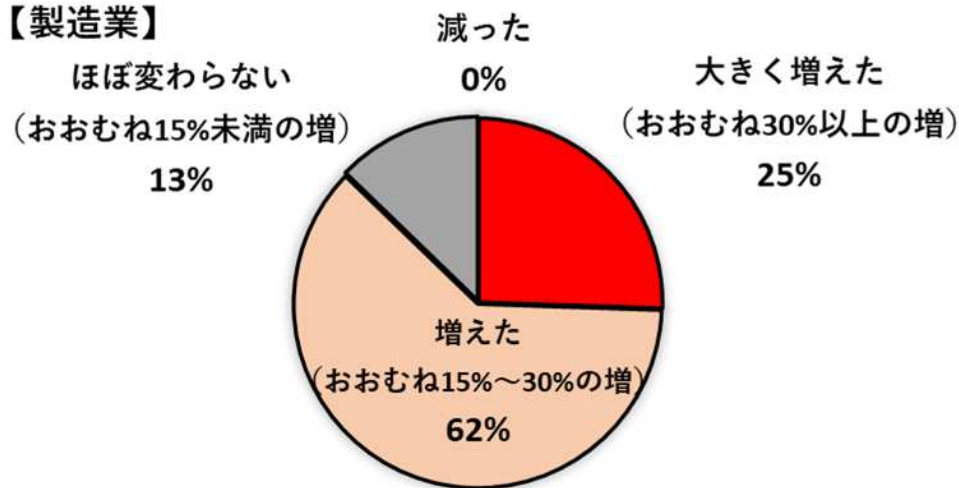
・宿泊・レストランはだいぶ回復してきたが、婚礼等不特定多数が集まる宴席の需要が  
まだ低い。

(宿泊業)

## 2. 原材料・エネルギーコストの状況 - 1年前との比較 -

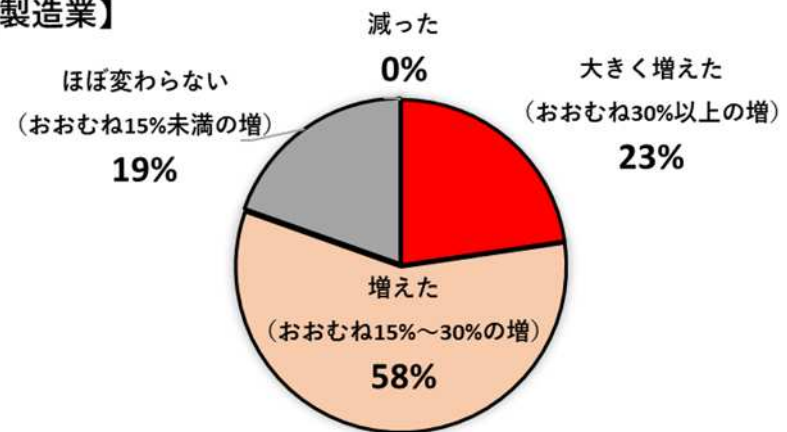
- 「大きく増えた」と「増えた」を合わせた割合が製造業は約9割、非製造業は約8割。
- いずれも前回より増加。

### 【製造業】

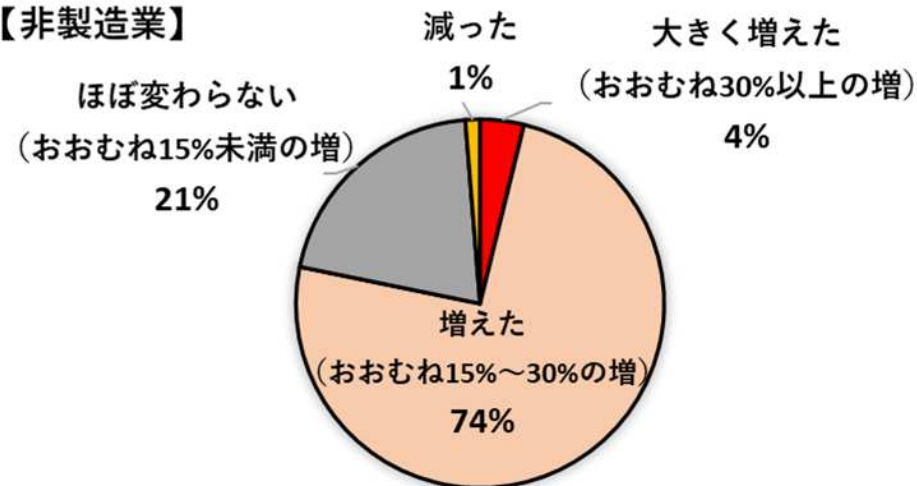


### (参考) 前回(令和4年8月)調査時

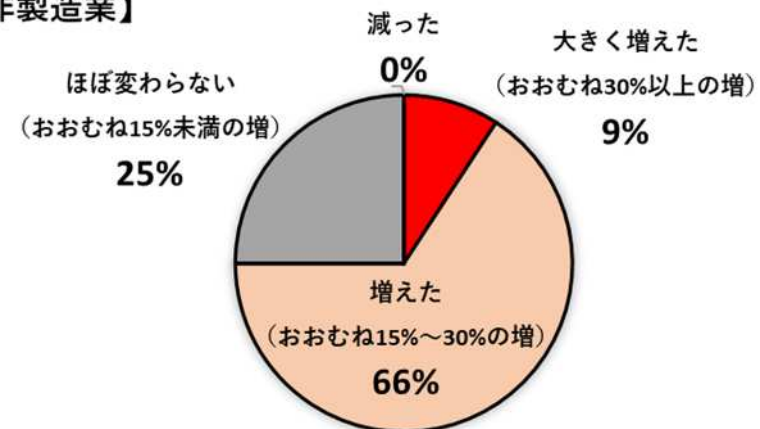
### 【製造業】



### 【非製造業】



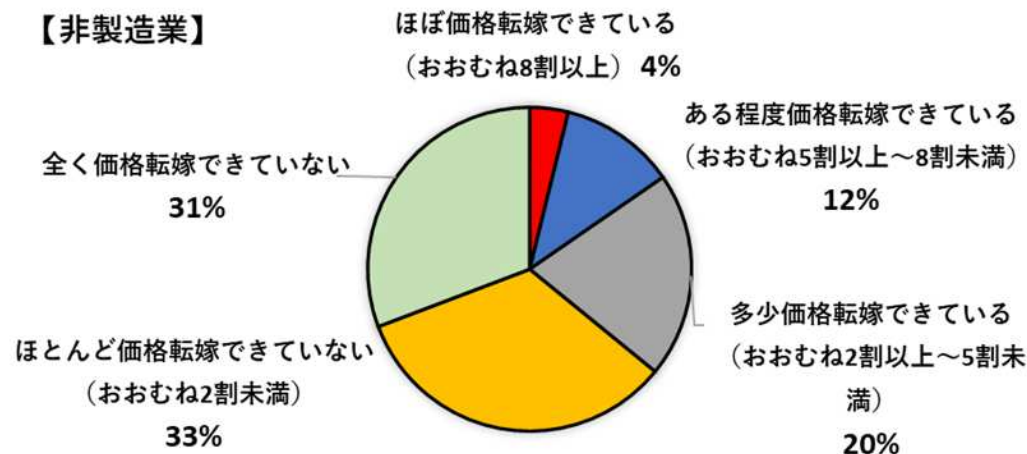
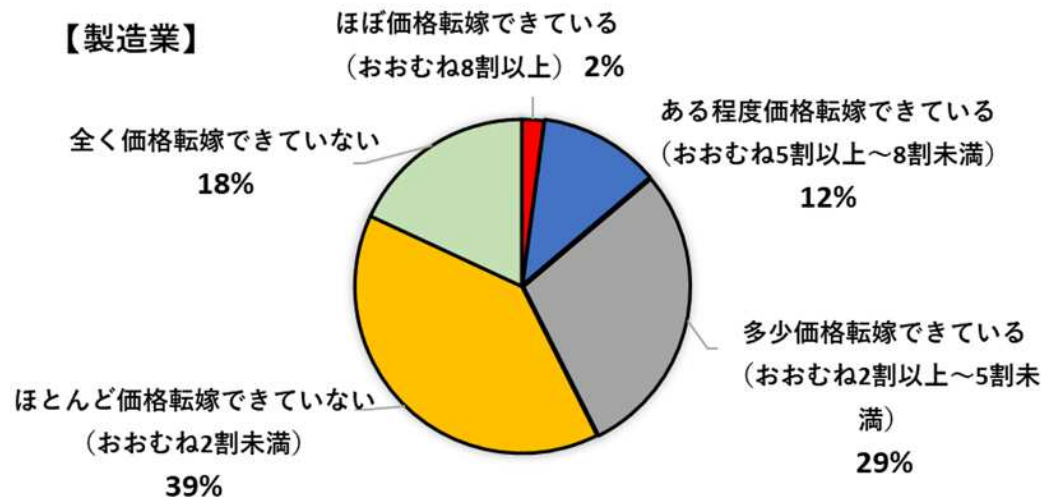
### 【非製造業】



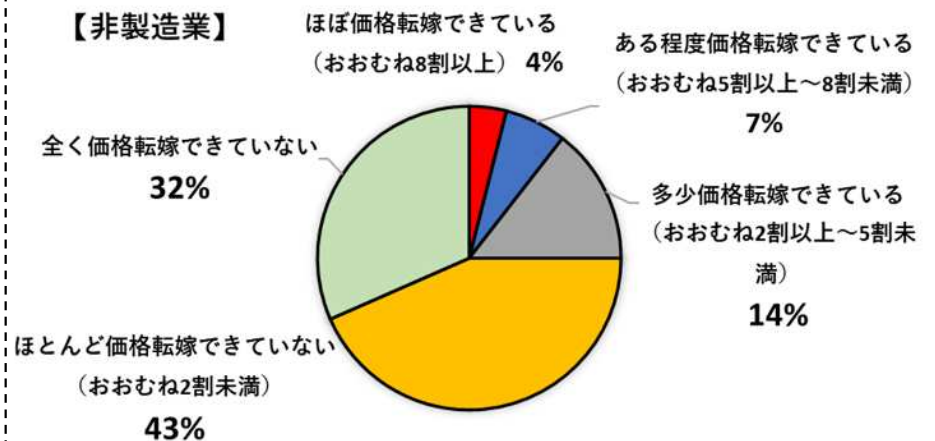
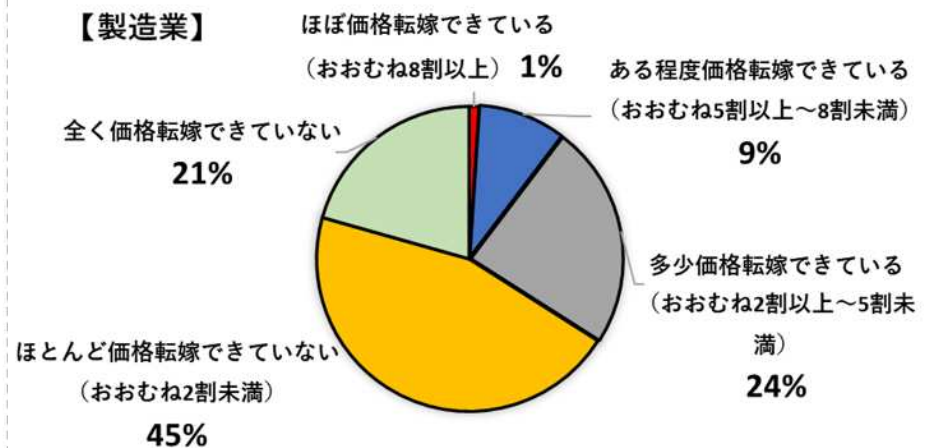
## 2. 原材料・エネルギーコストの状況 - 価格転嫁状況-

○ 「全く価格転嫁できていない」と「ほとんど価格転嫁できていない」を合わせた割合が製造業、非製造業ともに約6割。

○ いずれも前回より減少。



(参考) 前回(令和4年8月)調査時

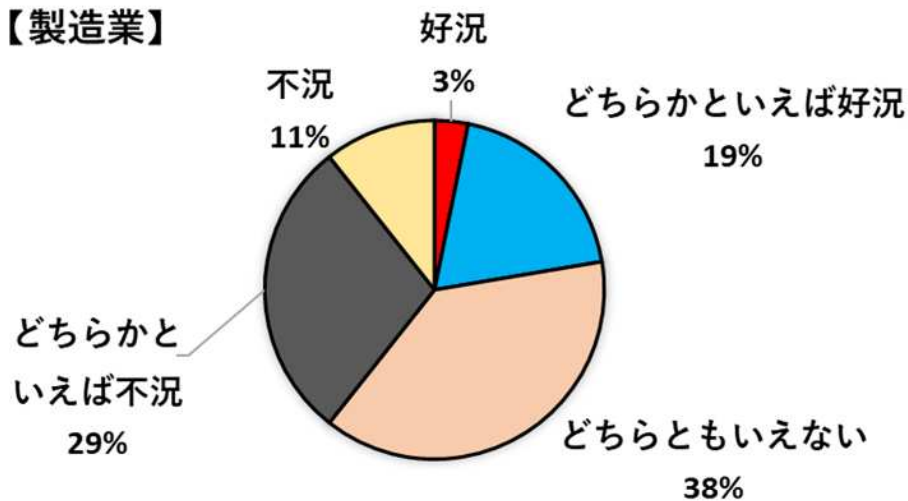




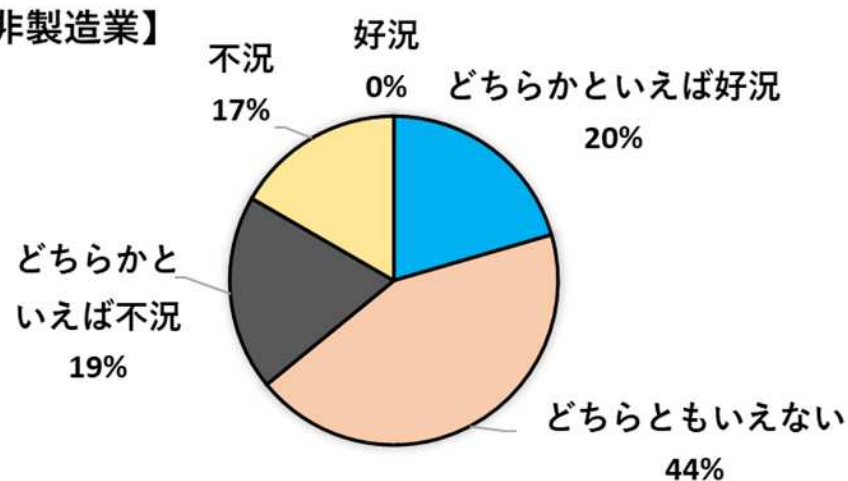
### 3. 業況 - 現在の業況 -

- 「不況」と「どちらかといえば不況」を合わせた割合が製造業、非製造業ともに約4割。
- いずれも前回とほぼ同様。

【製造業】

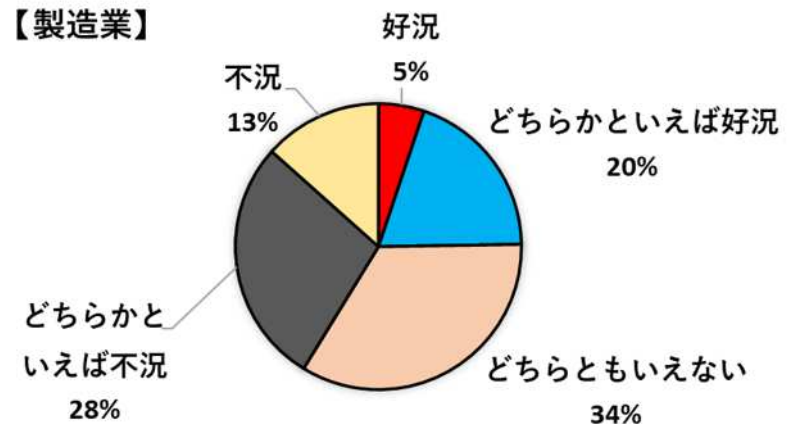


【非製造業】

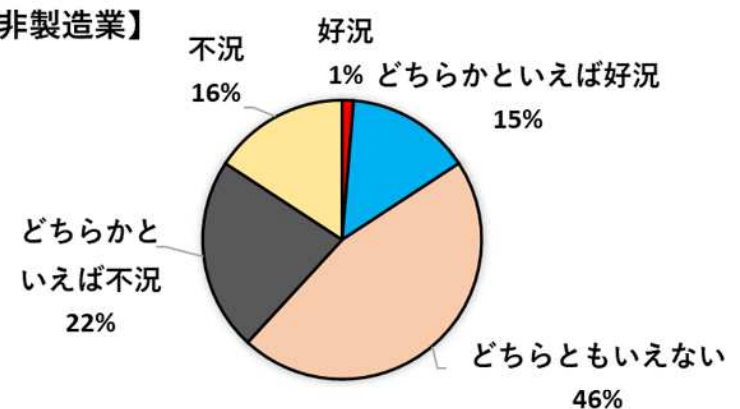


(参考) 前回(令和4年8月)調査時

【製造業】



【非製造業】

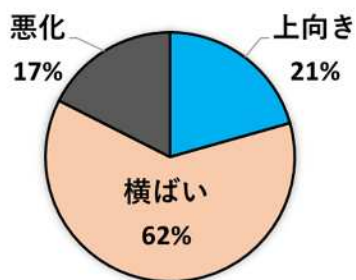


### 3. 業況 - 変化 (3か月前→現在→3か月後)-

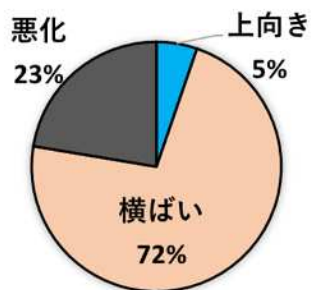
- 3か月前から現在までの業況は、前回調査時の予測と比べ、製造業では「上向き」が減少、「悪化」が増加し、「悪化」が減少。
- 今後3か月の業況は、製造業では「上向き」が増加し、「悪化」が減少、非製造業では現在とほぼ同様。

(参考) 前回(令和4年8月)調査時の  
現在→3か月後の予測

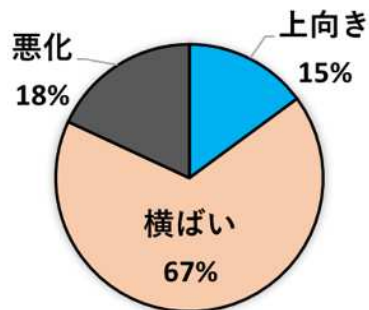
【製造業】業況の変化(現在→3か月後)



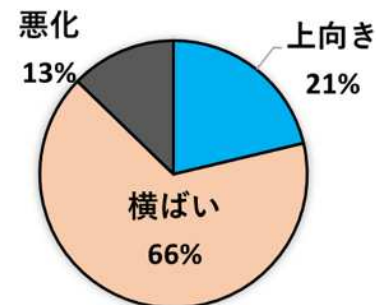
【非製造業】業況の変化(現在→3か月後)



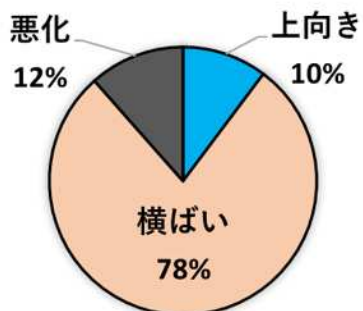
【製造業】業況の変化(3か月前→現在)



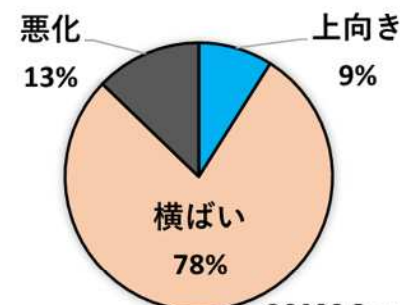
【製造業】業況の変化(現在→3か月後)



【非製造業】業況の変化(3か月前→現在)



【非製造業】業況の変化(現在→3か月後)





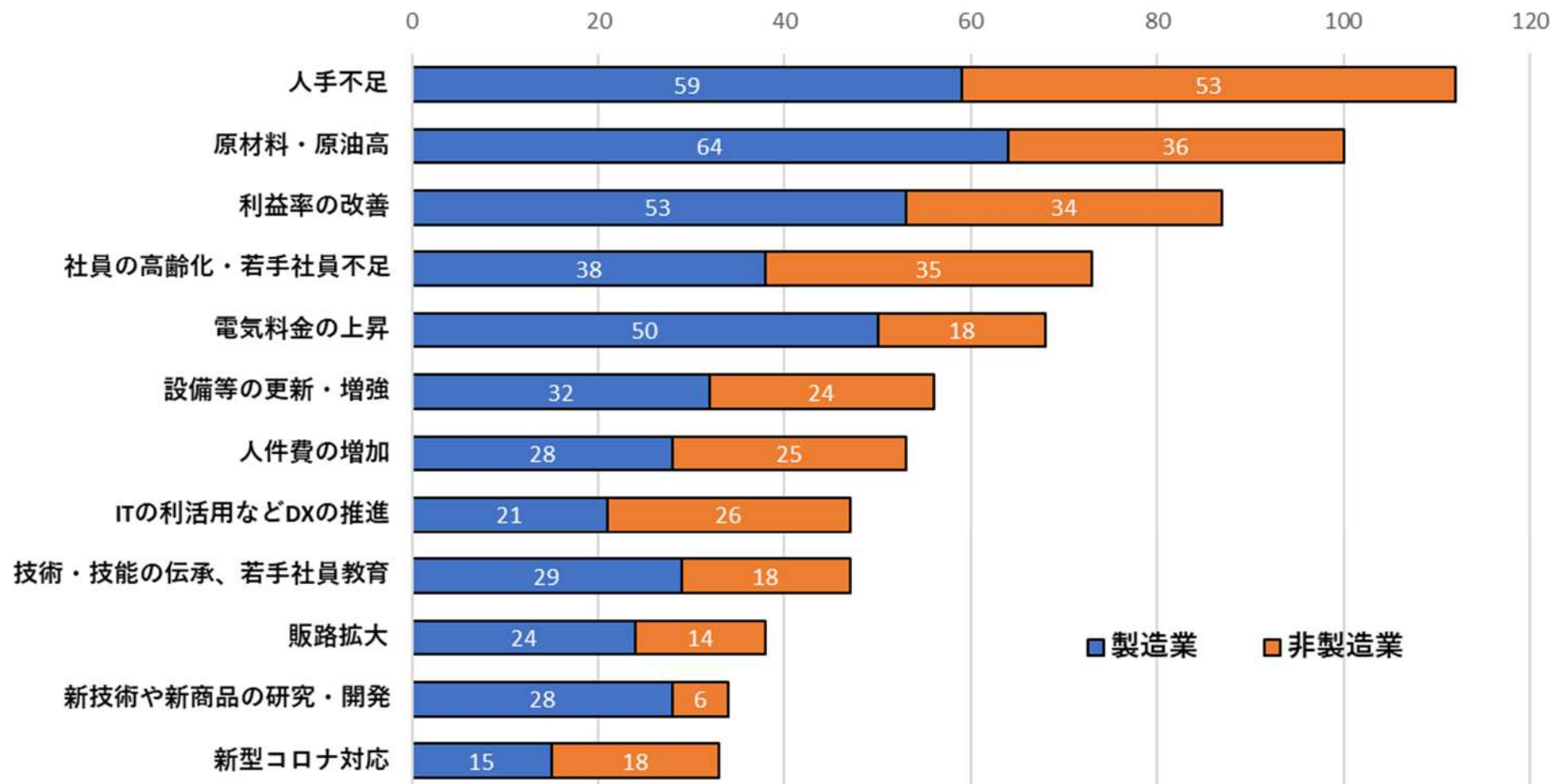
## 4. 現在の経営課題(複数回答)

製造業

原材料・原油高 64社 (68%)  
 人手不足 59社 (63%)  
 利益率の改善 53社 (56%)

非製造業

人手不足 53社 (68%)  
 原材料・原油高 36社 (46%)  
 社員の高齢化・若手社員不足 35社 (45%)



(選択社数30社以上の選択肢のみ記載)

## 4. 企業の主なコメント

---

### 製造業

#### 【原材料・原油高】・【利益率の改善】

・原材料やエネルギーのコスト上昇を吸収すべく、生産性向上などの利益率の改善が大きな課題。

(食料品製造業)

・4割近くの部品を海外から調達しているため、急激な円安による輸入コストの増加が著しい。  
電気代や消耗品費のコストアップに伴う経費の増加もあり、資金繰りも厳しい状況が続いている。

(情報通信機械器具製造業)

#### 【人手不足】

・新商品の開発を行いたいが、技術者が不足している。

(窯業・土石製品製造業)

### 非製造業

#### 【人手不足】・【社員の高齢化・若手社員不足】

・省人化、DXを推進しているが、人手不足、高齢化が近年顕著。募集をかけても応募が少ない。

(各種商品小売業)

・エンジニアが不足していて、募集してもなかなか応募がない。

(自動車小売業)

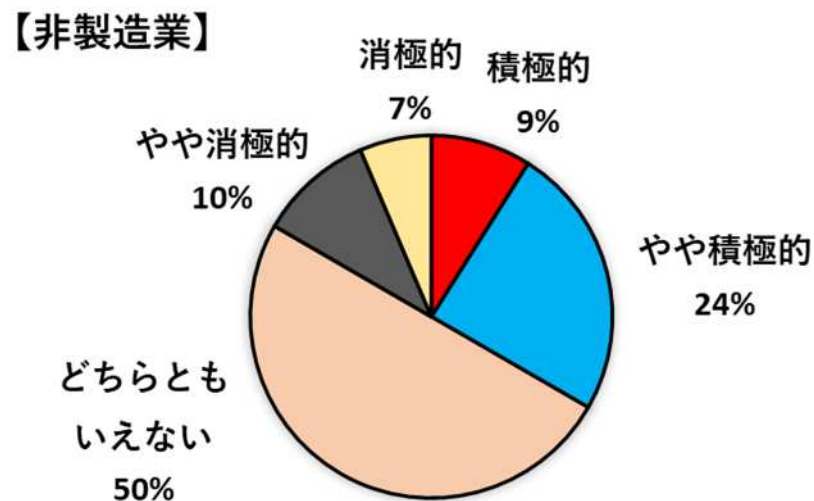
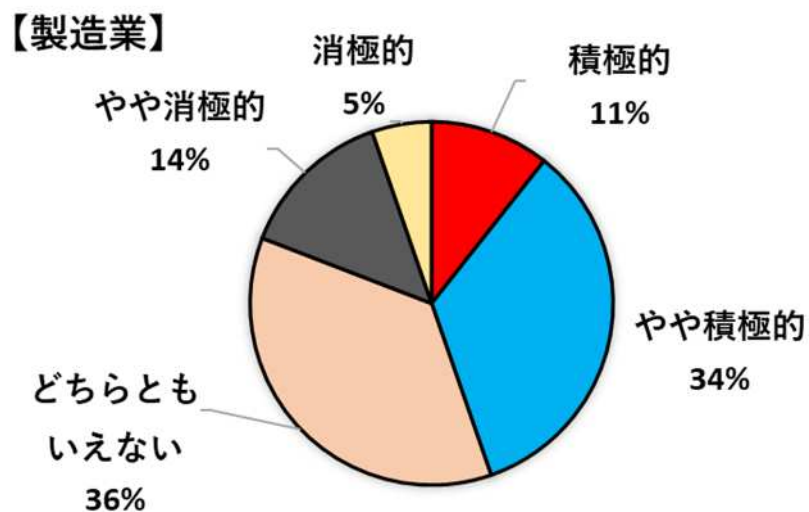
#### 【原材料・原油高】

・仕入れ価格上昇により、今後は経営悪化の予想。

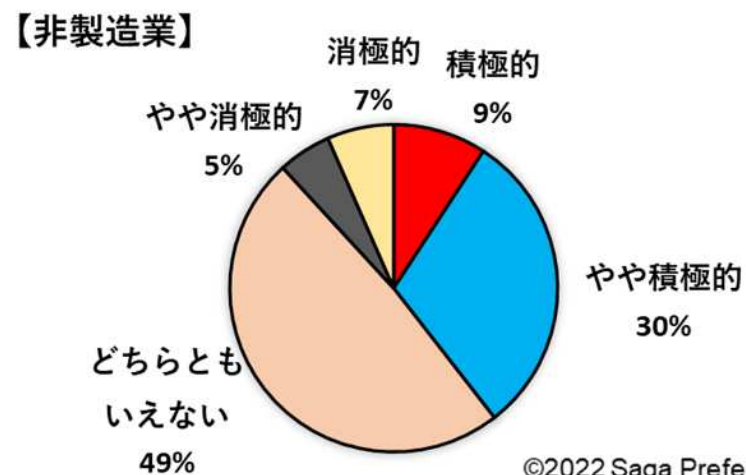
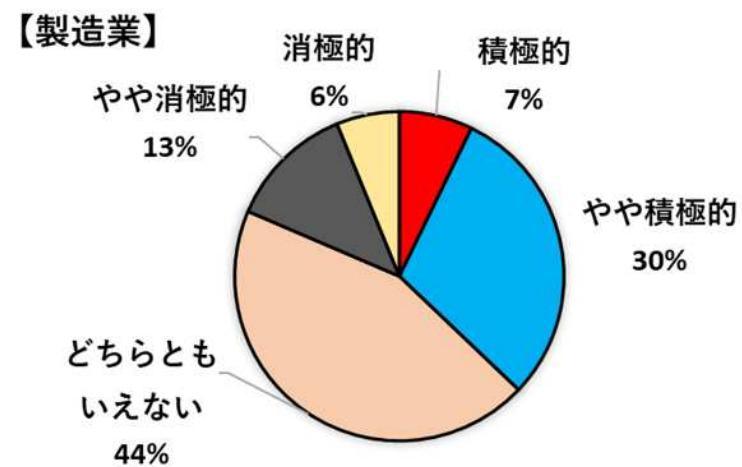
(飲食店)

## 5. 設備投資 - 取組姿勢 -

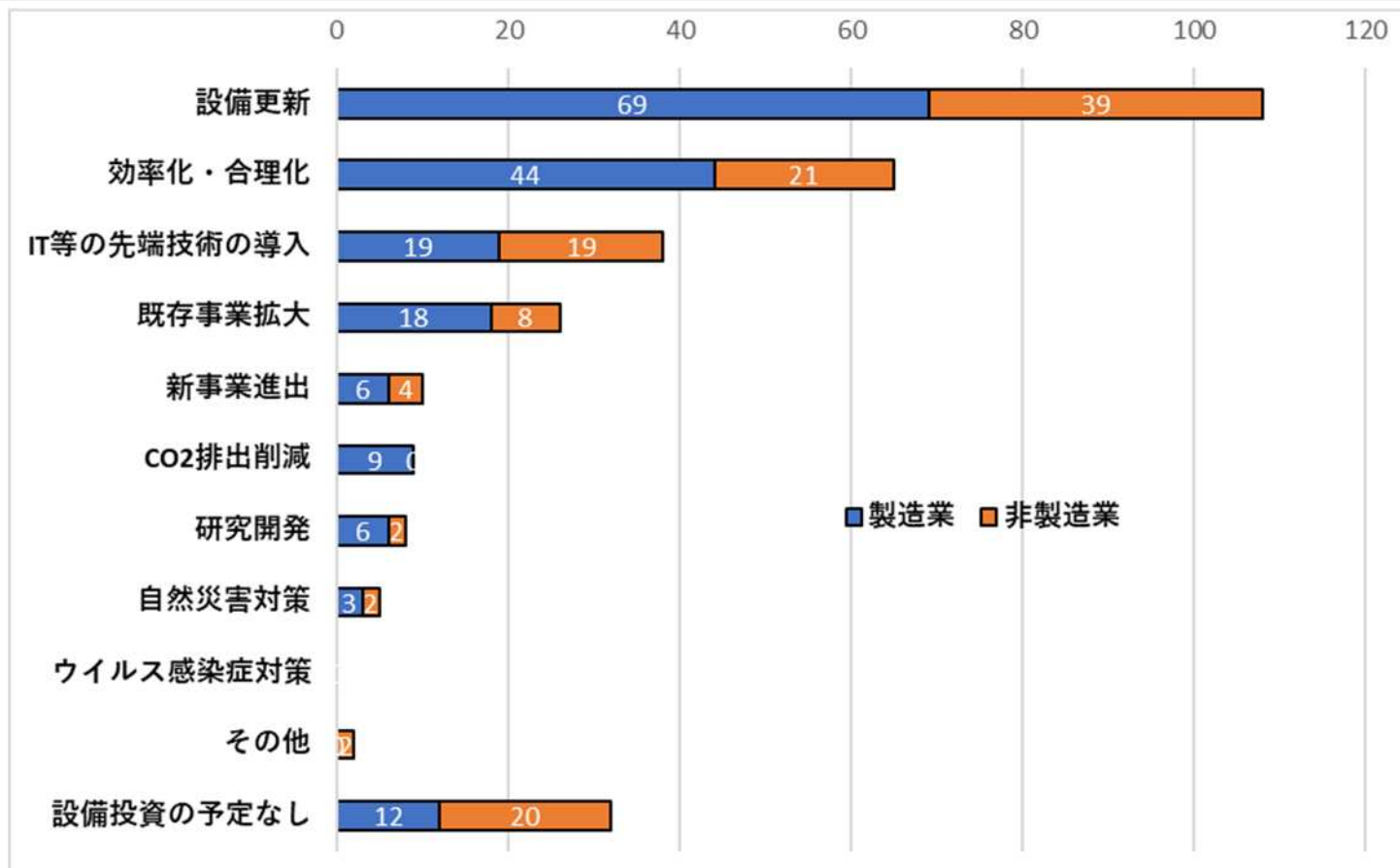
- 「積極的」と「やや積極的」を合わせた割合が製造業では約5割、非製造業では約3割。
- 製造業では前回より増加、非製造業では減少。



(参考) 前回(令和4年8月)調査時



## 5. 設備投資 - 目的 -



### 企業の主なコメント

・将来の人手不足に対応するため、省力化を図ったうえで、品質を安定化させる設備を導入する予定。  
(金属製品製造業)

・自家消費用の太陽光発電導入と、施設の電気設備の更新。  
(食料品製造業)

・インボイス、電子帳簿保存法への対応。  
(設備工事業)

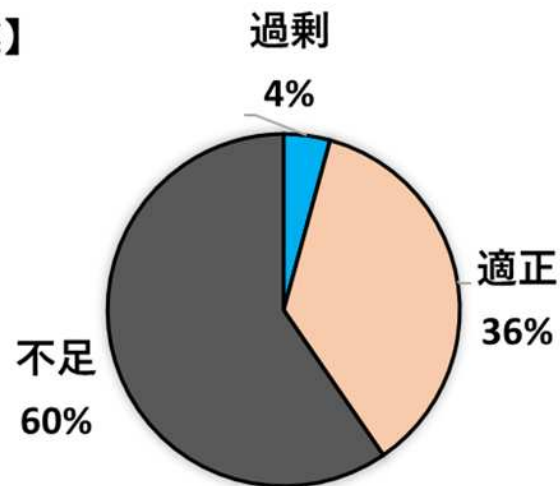
## 6. 雇用状況 - 過不足感 -

○ 「不足」の割合が製造業は約6割、非製造業は約7割で、いずれも前回とほぼ同様。

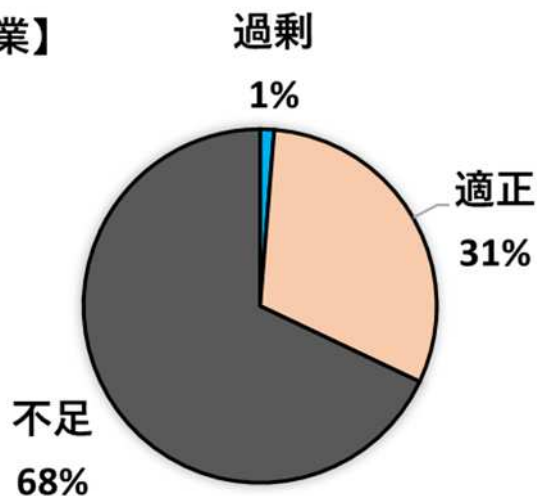
○ 「不足」職種の上位は、製造業で作業員(66%)、技能工(55%)、非製造業で専門・技術(43%)、販売・営業(38%)。

(複数回答、括弧内は「不足」と回答した企業中の回答割合)

【製造業】

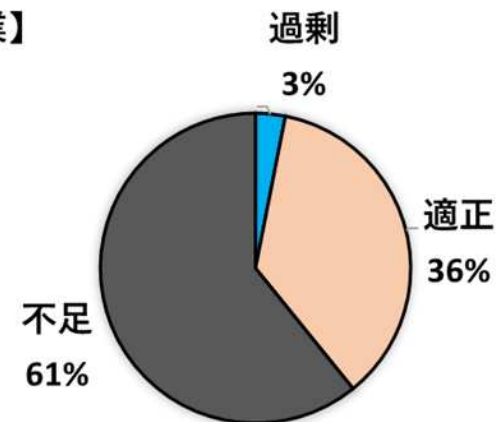


【非製造業】

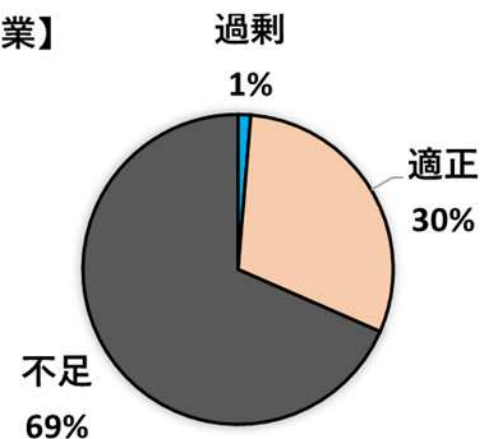


(参考) 前回(令和4年8月)調査時

【製造業】



【非製造業】





## 6. 企業の主なコメント

---

### 製造業

#### 「不足」

- ・来年度の新卒者の募集を行っていたが、事前見学者もごくわずかで、応募者は無い。  
(化学工業)

#### 「適正」

- ・現状、適正人員と考えるが、新規設備導入もあり、優秀な人材確保と補充を行っていく。  
(はん用機械器具製造業)

### 非製造業

#### 「不足」

- ・新卒採用、中途採用の活動を積極的に行ってはいるが、IT人材の市場はこれまでにない売り手市場で、企業間の獲得競争が激しく、必要な人材の採用が思うようにできていない。  
(情報サービス業)

#### 「適正」

- ・中途の応募はある程度あるものの、新卒の求人が難しい。  
(飲食料品卸売業)